有明体操競技場 の整備について

有明体操競技場　➢組織委員会が整備する仮設会場

➢アジェンダ2020を踏まえ、大会後10年程度、都が都内中小企業の振興に資する展示場として活用

■施設概要

大会時競技種目：【オリンピック】体操、新体操、トランポリン
【パラリンピック】ボッチャ

所在地　：東京都江東区有明一丁目7-4（地名地番）

〈大会時〉

敷地面積：約96,400㎡
延床面積：約39,300㎡
構造形式：【主競技場】鉄骨造・一部木造、地上３階、観客席12,000席
【ｳｫｰﾑｱｯﾌﾟ棟】鉄骨造、平屋建

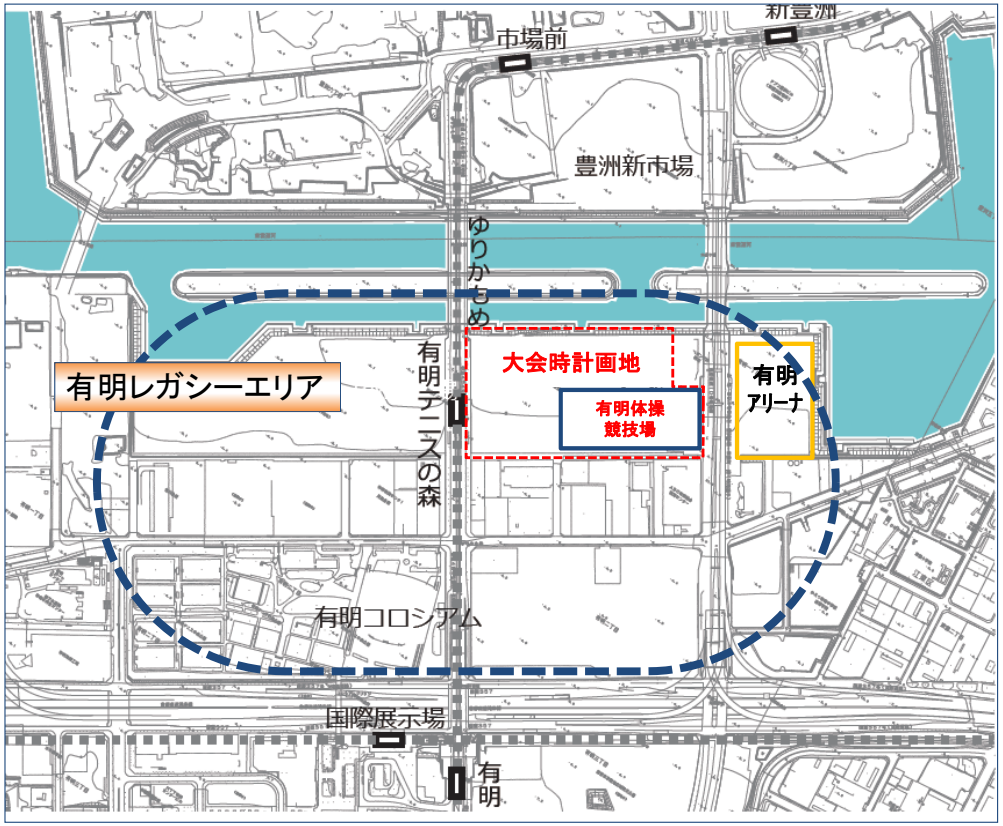
〈展示場 後利用時〉

敷地面積：約36,500㎡
延床面積：約27,600㎡
展示面積：約10,000㎡
構造形式：鉄骨造・一部木造、地上3階

■整備スケジュール

平成28年11月21日　設計・施工一括発注工事契約（デザインビルド）
平成29年11月中旬　本体工事着手
平成31年10月25日　工事完了
大会終了後　　展示場に改修

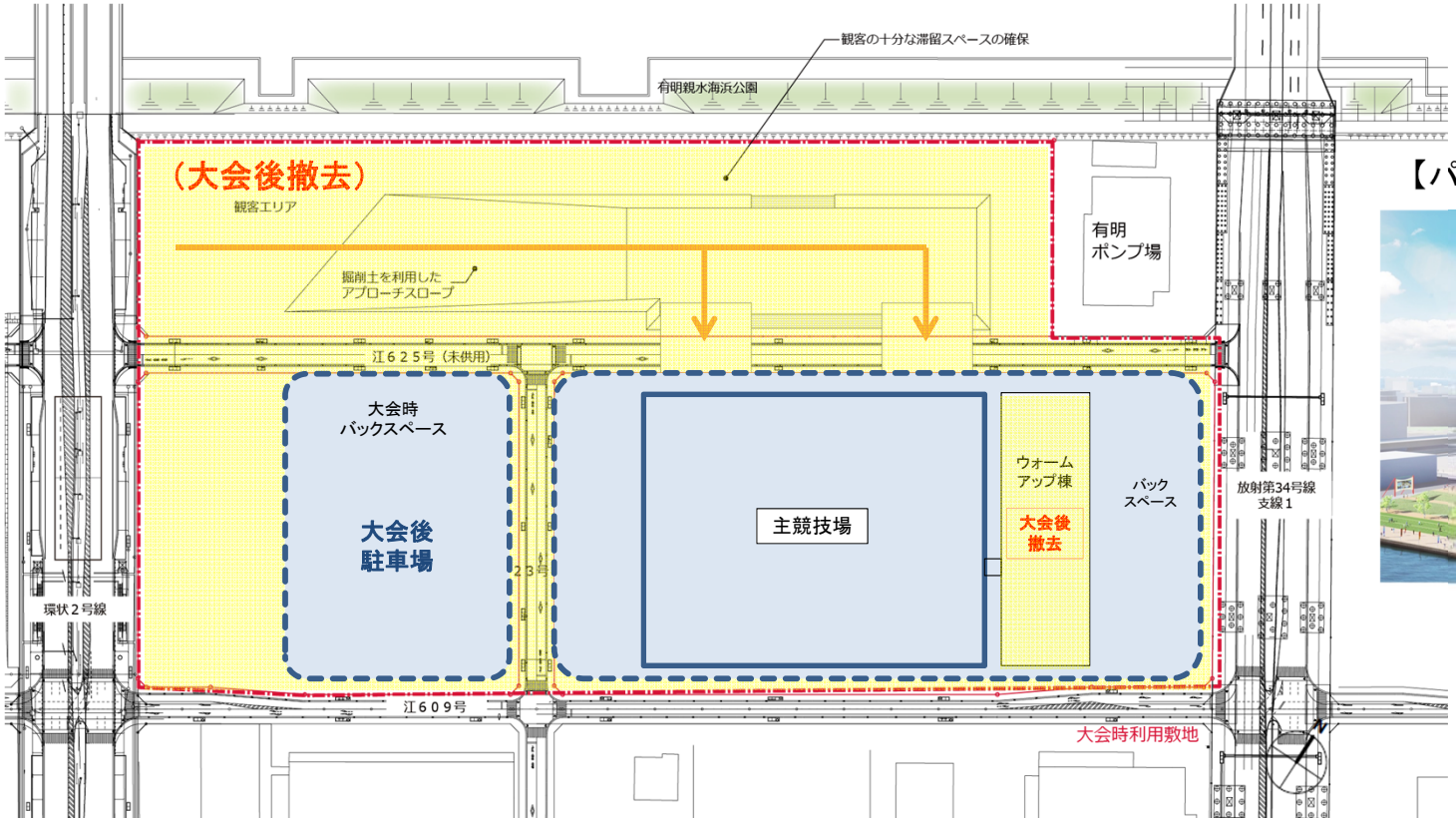
■計画地概要



■整備内容

【設計のコンセプト】
○ アスリートファースト　○ 良好な観覧環境　○ 持続可能性への配慮　○ コスト縮減の徹底
○ アクセシビリティガイドラインへの準拠　○ 大会後の後利用

【配置図】



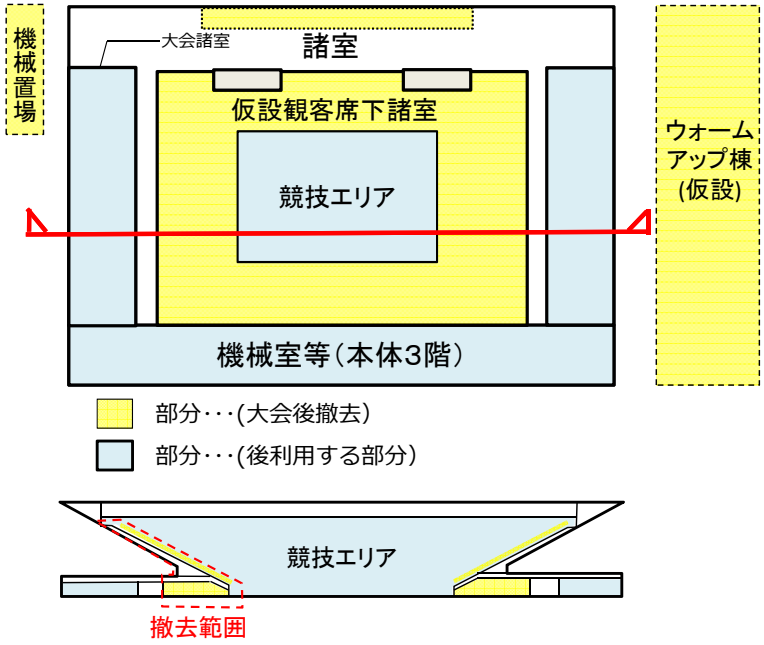
赤線 大会時エリア　青線 後利用時エリア

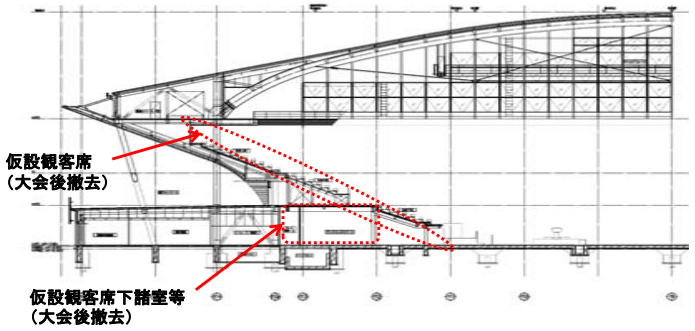
【パース図】

平成28年11月時点でのイメージ図

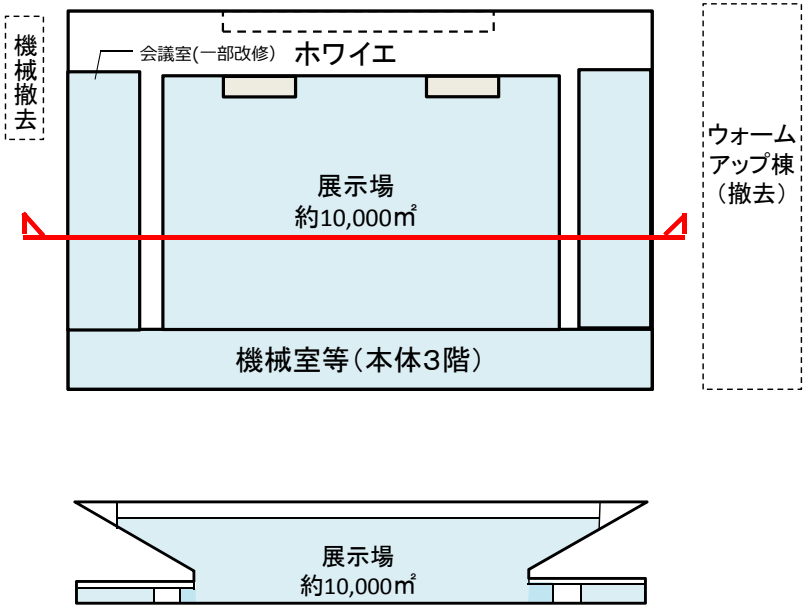
■整備内容（イメージ図）

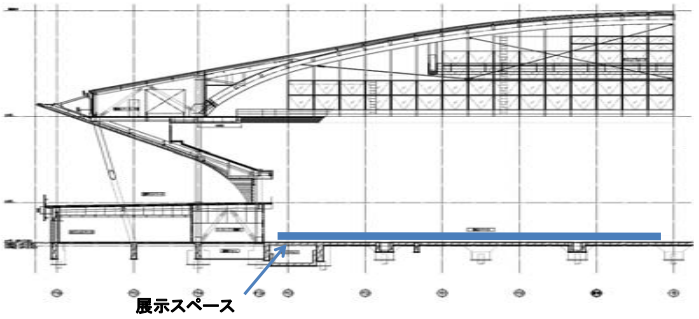
■大会時（競技場利用）





■後利用時（展示場利用）





- ➢ 後利用する部分
  - ・躯体
    （床、壁、梁等）
  - ・屋根
  - ・受変電設備
  - ・受電ケーブル等
- ➢ 大会後に改修・追加整備する部分
  - ・会議室
  - ・駐車場等
- ➢ 大会後に撤去する部分
  - ・仮設観客席
  - ・仮設観客席下諸室
  - ・大会用機械設備等

■整備費の費用負担について

これまでの検討経緯

○ 施設が広く都民のために有効活用されるよう検討（平成27年3月予算特別委員会）
○ ニーズが見込める展示場など、大空間をそのまま活かした多様な活用を検討（平成27年９月第三回定例会）
○ 大会後の展示場としての後利用に相当する整備費について都が負担（平成28年3月予算特別委員会）

費用負担の考え方

○ 展示場として大会後も使用する部分及び大会後に改修・追加整備する部分（後利用に相当する部分）⇒　都負担
○ 大会時のみに使用する部分（仮設部分）⇒　役割分担に関する基本的な方向を踏まえ、都の負担及び組織委員会の負担について精査中

施設整備費

253億円〔設計・施工発注時点の概算額　※今後の設計・施工の進捗にあわせて精査〕

（単位：億円）

主な内容	整備費	後利用に相当する部分	大会時のみ使用する部分
主競技場本体 ○大会後、展示場に転用する、躯体、屋根、受変電設備等 ○大会後に改修・追加整備する、会議室、展示場用給水管等 ○大会後に撤去する、仮設観客席、仮設観客席下諸室等	186	166	20
ウォームアップ棟	10	0	10
外構 ○大会後も使用する、受電ケーブル等 ○大会後に改修・追加整備する、駐車場、植栽等 ○大会後に撤去する、プレハブ、舗装、土スロープ等	41	15	26
調査・設計等（基本設計、実施設計等）	16	12	4
計	**253**	**193**	**60**